

当院で入院診療を受けられた患者さんへ

「当院における非閉塞性腸間膜虚血（NOMI）症例の臨床的特徴と予測因子に関する後方視的検討」への協力のお願い

高次救命治療センターでは、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2015年4月1日～2025年9月30日の間に、当院で非閉塞性腸間膜虚血（NOMI）と診断された16歳以上の方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2028年3月31日

研究目的・利用方法：

非閉塞性腸間膜虚血（NOMI）は腸間膜血管に血栓や塞栓などの器質的閉塞を伴わない循環障害により腸管虚血や壊死を非連続性に来す疾患です。早期発見、治療介入が重要であり、治療の遅れから致死的となることが多いです。特に循環動態の不安定な集中治療管理中の患者さんに本疾患を発症することも多く、この場合の死亡率が非常に高いといわれています。診断には造影CTが有用ですが、集中治療管理中という特殊な環境から患者が挿管管理中であることも多く、身体所見が乏しいことに加え、患者の移動が困難なこともあります。どのような所見をもって本疾患を疑い、検査、治療に踏み切るかという意思決定に難渋することが多いです。本研究では NOMI と診断された患者さんの検査結果や治療の経過を後方視的に検討し、早期発見・診断につながる臨床的な特徴を明らかにすることを目的としています。

研究に用いる情報の種類：

以下の項目につき、診療録から取得します。これらはいずれも日常診療によって得られた項目です。

- ・年齢、性別、診断名、病歴、既往歴、内服歴
- ・発症時、来院時からその後のバイタルサインの経過
- ・発症時の症状（腹痛、下痢、下血、嘔吐など）
- ・治療経過における昇圧薬（ノルアドレナリン、ドブタミン、バソプレシン）使用の有無と用量
- ・検査項目：CK、AST、ALT、LDH、ALP、AMY、T-Bil、BUN、Cre、CRP、ミオグロビン、白血球数、血小板数、PT、APTT、フィブリノーゲン、FDP、ATIII、dダイマー、ヘモグロビン、ヘマトクリット、動脈血液ガス、乳酸値
- ・単純および造影CT検査もしくはMRI検査などの画像検査情報
- ・治療経過（輸血の有無や総投与量、開始時間、経カテーテル動脈塞栓術、手術内容）
- ・予後（死亡の有無、退院後のADL）

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2025年11月7日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター
電話番号：058-230-6448
氏名：福田 哲也

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター
氏名：福田 哲也

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸1番1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp